

1日目 17:35~17:55〔20分〕

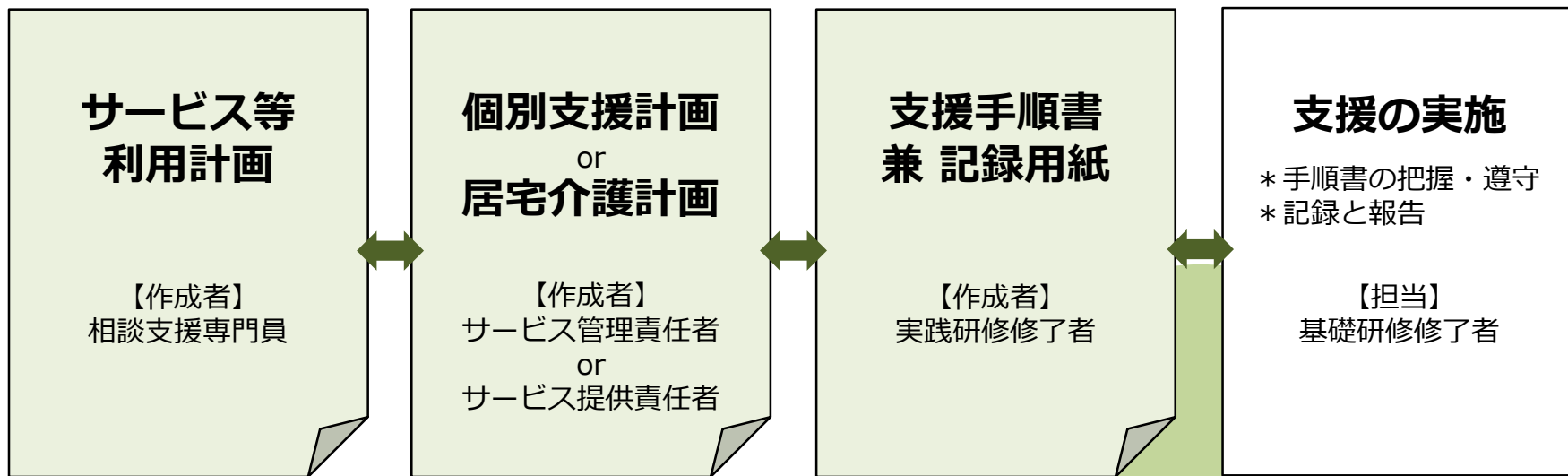
【講義】支援の基本的な枠組み

この時間は、手順書に書かれている内容を理解し、実直に指示に従って支援を提供することの大切さを学びます。

この講義を通じて、受講者のみなさまに知ってもらいたいことは、以下の3点です。

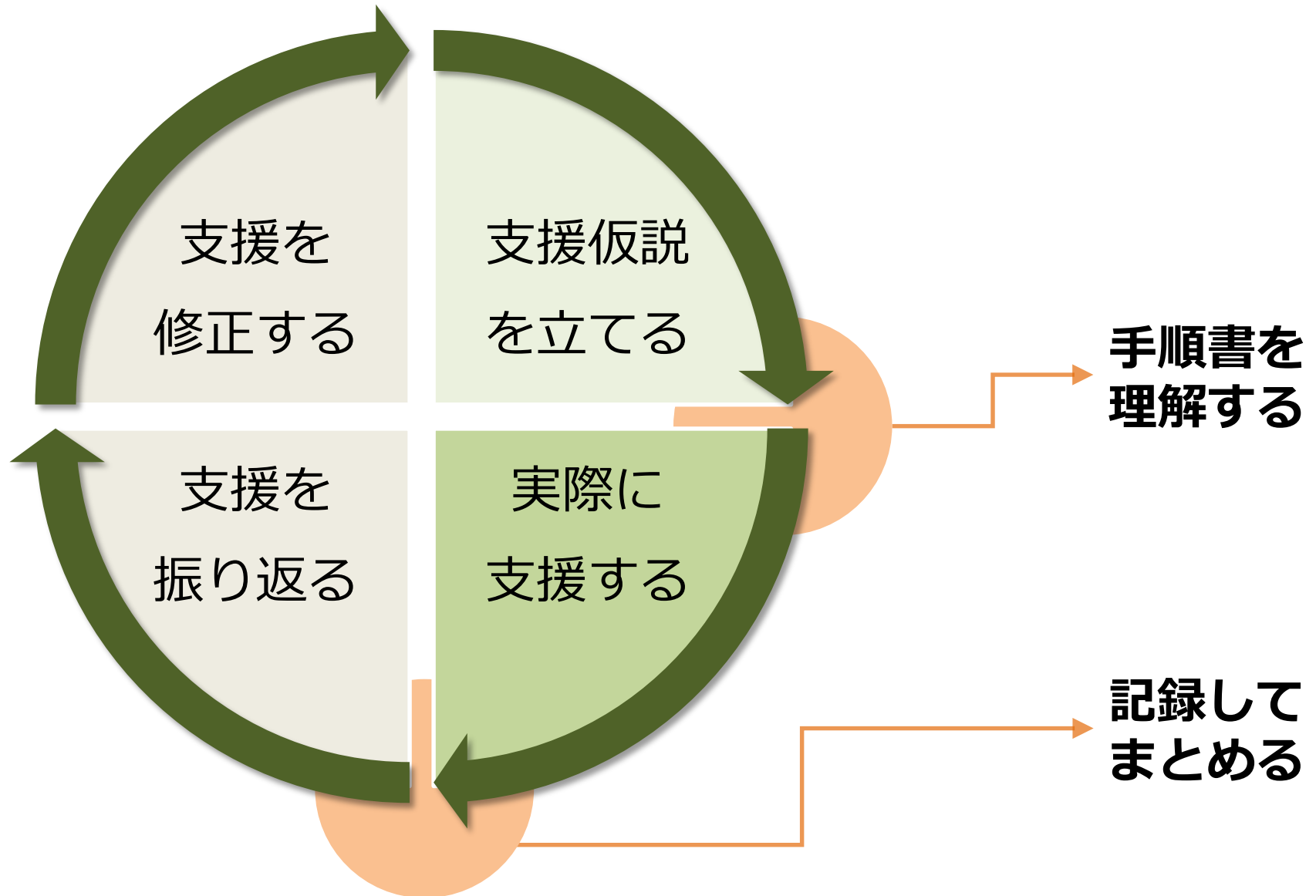
- 大きな計画を日々の支援に落としこむには、具体的な指示（書）が必要になること
- 指示どおり一貫した支援をする必要があること
- 記録をすることの大切さ

支援の基本的な流れ | 枠組み



- 日々の利用者の変化に応じた細かな支援の**変更**が必要
- 支援の記録を取り、修正に反映する仕組みが重要になる

支援の基本的な流れ | 日々の支援



記録は支援を振り返る上で 欠かせないもの

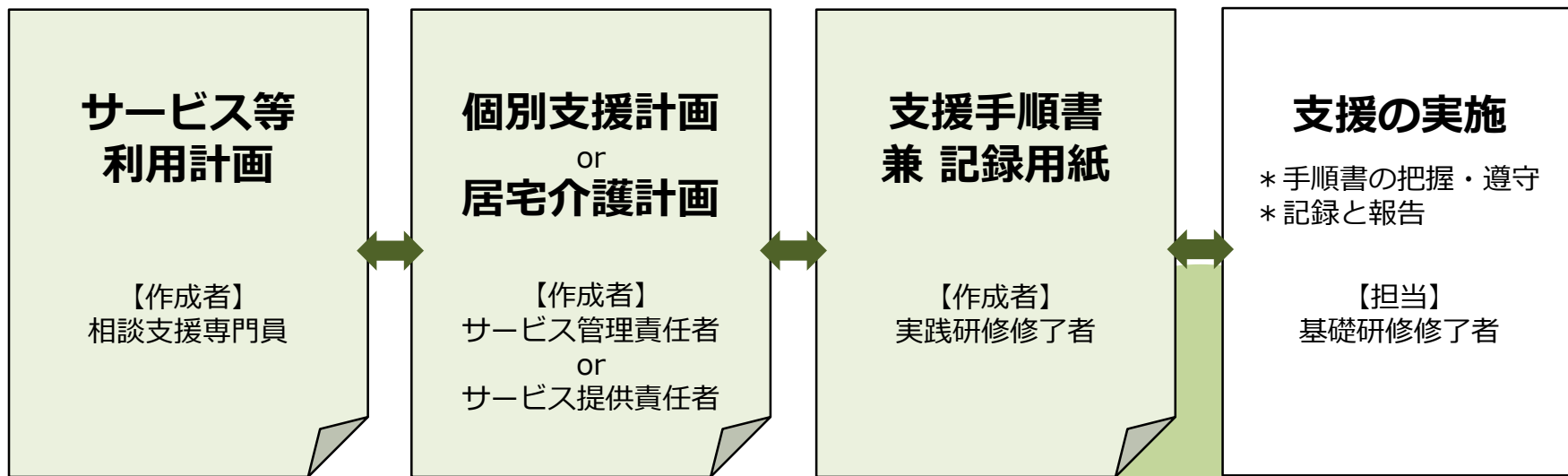
記録を続けるために

- 欲張らない
- 何のための記録かを明確に
- 期限を設けて、チームで振り返りの機会を
- 振り返り（ミーティング）は時間制限を
- 次の振り返りの日程とそれまでのタスクを決める

記録をつけやすい工夫をする

- すでに使われている記録を活用する（例：日誌の隅）
- 記録をする場所に記録用紙を置く（例：トイレの横）

支援の基本的な流れ | 枠組み



- 日々の利用者の変化に応じた細かな支援の**変更**が必要
- 支援の記録を取り、修正に反映する仕組みが重要になる

様々な計画と支援の手順書

項目	テキストの頁
サービス等利用計画	110-111
個別支援計画・居宅介護計画	112
支援の手順書	113-114
記録のまとめ	115
手順の変更	116-117

まとめ

- サービス等利用計画や個別支援計画と、実際の支援の間には開きがある
 - 支援の現場では何らかの「指示」が必須
 - 指示にはいろいろな形がある
- チームで一貫した支援を行う
 - 勝手な判断で支援の方法を変えない
- 記録を取り、まとめ、報告することで支援のサイクルを回す
 - 記録は継続できるように無理のない形とする
 - 最初は慣れなくても、記録のまとめは継続する
- 情報・評価・支援内容等に必要な情報は、サービス管理責任者／サービス提供責任者に質問・確認を